



- 展覧会名 「クワクボリョウタ展 みえるものすべて -all that you see-」
- 会期 2018年12月15日(土) → 2019年1月20日(日)
開館時間：9時～17時
休館日：毎週火曜日、12月26日(水)、12月29日(土)～1月3日(木)、1月16日(水)
- 会場 大垣市スイトピアセンター アートギャラリー (学習館1階)
(岐阜県大垣市室本町5-51)
- 観覧料 無料
- 開催体制 主催:公益財団法人 大垣市文化事業団(大垣市指定管理事業)
協力:情報科学芸術大学院大学[IAMAS]
- お問い合わせ 公益財団法人 大垣市文化事業団 事業課 Tel.0584-82-2310

展覧会について

複合施設「大垣市スイトピアセンター」では、アート×サイエンス(美術×科学)をテーマとする企画展に取り組んでいます。今回の展覧会は、各地の美術館や国際芸術祭等、広く国内外で活躍する注目のメディアアーティスト・クワクボリョウタ氏の個展を開催します。

暮らしの中に生まれる影は、常に移ろい、その姿を留めません。そして、時には思いもしない形を生み出し、私たちに驚きを与えてくれます。そこには、「観る」という行為が、起点として存在します。

観ることは、視覚から始まり、音や、場の空気といった周囲全体に広がると共に、一人一人の記憶に触れ、私たちの内面へと繋がっていきます。つまり、観るという行為は、それ自体が、体験を紡ぐものとも言えるでしょう。

クワクボ氏は、電子部品や機構そのものに着目し、観る人自身が内面で体験を紡ぎ出すような作品を発表してきました。本展では、光と影を素材とした代表作《10番目の感傷(点・線・面)》※を含む3作品に加え、ワークショップを通して、作家と参加者が作り上げる「風景」を展示します。

※ 第14回文化庁メディア芸術祭(2010年) アート部門 優秀賞受賞

展覧会の特徴

○ 東海地区初のクワクボリョウタ個展！！

情報科学芸術大学院大学[IAMAS]の准教授でもあり、卒業生でもあるクワクボリョウタ。職場と母校のある大垣の地での個展は、東海地区での初個展となります。また、近年注目度の高い代表作シリーズ「LOST」の原点である最初の作品《10番目の感傷(点・線・面)》を展示します。

○ 本展のために再構成した作品も展示！

クワクボリョウタの作品の魅力は、「LOST」シリーズだけではありません。今回の個展では、会場となるスイトピアセンターアートギャラリーの展示室の作りを活かした作品も展開します。第一室ガラスケースに展示の《忘れ物取扱所》は、本展でしか見られない新たな形で公開します。

○ クワクボリョウタ初の試み！参加者と作り上げる風景

これまで、各地で作品の展示だけではなく、ワークショップを実施してきたクワクボリョウタ。本展では、「LOST」シリーズを題材に、事前ワークショップを開催。作家と参加者が作り上げた「光と影を使った風景」を展示します。《10番目の感傷(点・線・面)》と見比べてみましょう。

○ 感想、驚きをみんなでシェアしよう！

本展は、他の鑑賞者のみなさんの迷惑にならない限り、写真の撮影、動画の撮影が可能です(ただし、フラッシュと三脚の使用は禁止)。作品を「観て」感じたことを、ぜひ SNS など発信してください。作品が作り上げる風景から感じられることは、人それぞれ。多くの物語が生まれます。

クワクボリョウタ (Ryota Kuwakubo)

アーティスト／情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 准教授／多摩美術大学情報デザイン学科 非常勤講師
現代美術を学んだ後、1998年に明和電機との共作《ビットマン》を制作し、エレクトロニクスを使用した作品制作活動を開始。デジタルとアナログ、人間と機械、情報の送り手と受け手など、さまざまな境界線上で生じる事象をクローズアップする作品によって、「デバイス・アート」とも呼ばれる独自のスタイルを生み出した。その代表作に《ビデオバルブ》、《PLX》、《ニコダマ》などがある。2010年発表のインスタレーション《10番目の感傷(点・線・面)》以降は、観る人自身が内面で体験を紡ぎ出すような作品に着手している。アートユニット、パーフェクトロンとしても活動。『デザインあ展』(2018年／富山県美術館、日本科学未来館)の展示構成などを手がける。

<http://ryotakuwakubo.com/>

近年の主な展覧会

2017	THEドラえもん展 TOKYO2017(東京、高岡、愛知)
2016	クワクポリョウタ展ー 見ることを見る(宇都宮市美術館／栃木) ※
2015	岐阜おおがきビエンナーレ「日々の裂け目」(IAMAS／岐阜) 動きのカガク／単位展(21_21 DESIGN SIGHT／東京) アート・オブ・メモリー(北九州市立美術館／北九州)
2013	反重力(豊田市美術館／愛知) 岐阜おおがきビエンナーレ「LIFE to LIFE」(IAMAS／岐阜)

※ 個展

関連企画

1) ワークショップ「光と影で風景を作ろう」

日 時 / 2018年12月9日(日) 10時～15時30分 ※終了

場 所 / 大垣市スイトピアセンター アートギャラリー(学習館1階)

申 込 / 参加料800円、定員12組(年齢は問いません)

内 容 / 日用品の影を観察し、参加者みんなで風景を作ります。ワークショップ参加者と作家による協同制作作品は、展覧会の会場内に展示します。

2) アーティストトーク

日 時 / 2018年12月16日(日) 14時30分～

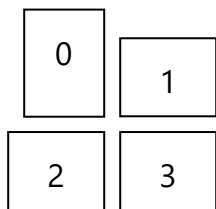
場 所 / 大垣市スイトピアセンター ハイビジョンシアター(学習館1階)

参加料 / 無料

出品予定作品一覧

- ① 《10番目の感傷(点・線・面)》 2010年
- ② 《忘れ物取扱所》 2013年 / 2018年
- ③ 《以心分身》 2015年 / 2018年
- ④ ワークショップ参加者との協同制作作品 2018年

※2018年12月8日現在の予定



0 展覧会メインビジュアル

1 《10番目の感傷(点・線・面)》2010年
撮影:椎木静寧 写真提供:栃木県立美術館

2 《忘れ物取扱所》2016年
撮影:椎木静寧 写真提供:宇都宮美術館

3 《以心分身》2015年
撮影:椎木静寧 写真提供:川口市立アートギャラリー・アトリア

展覧会メインビジュアル

デザイン:大橋徹也

広報用画像について

広報用画像のご提供については、展覧会事務局までお問い合わせください。

本展覧会に関するお問い合わせ

公益財団法人 大垣市文化事業団 <http://www.og-bunka.or.jp/>

〒503-0911 岐阜県大垣市室本町 5-51 Twitter / @ogaki_bunka

Tel.0584-82-2310

Fax.0584-82-2305

Mail. arts-sec@og-bunka.or.jp

担当 / 事業課 係長:西田 係:早崎
